

# 安全データシート

作成：株式会社 ニューストロング  
〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西2丁目3番34号  
緊急時の電話番号：06-6747-0771  
作成日：2016年10月25日

---

## セクション1：化学品及び会社情報

---

### 1. 製品特定名

研磨パッド KPD-320

### 2. 奨励用途及び使用上の制限

鉄板やパイプ等のサビ、汚れ、塗料取りやアルミ製品のスリキズぼかしや粗面化  
工業用につき専門家に使用を限定する。

### 3. 販売会社情報

供給者	株式会社 ニューストロング
住所	大阪府東大阪市本庄西2丁目3番34号
電話番号	06-6747-0771

---

## セクション2：危険有害性の要約

---

### 1. 危険有害性の分類

発がん性：区分2  
特定標的臓器・全身毒性：区分3  
単回ばく露 特定標的臓器・全身毒性:区分1(吸入：肺)

### 2. ラベル要素

注意喚起語：危険

### 3. シンボル

健康有害性

### 4. ピクトグラム



**危険性有害情報** 発がん性のおそれの疑い。  
呼吸器への刺激の恐れ  
長期又は反復ばく露（吸入）による肺の障害

### 注意書き

**安全対策** この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。  
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

粉じんを吸入しないこと。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと

**応急処置** 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。又、気分が悪い時は 医師の診断、手当を受けること

**保管** 特別な保管要件はない。

**廃棄** 内容物や容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って破棄すること。

---

### セクション 3 : 組成及び成分情報

---

この製品は混合物です

組成分	CAS 番号	化学式	重量%
ナイロン 66	32131-17-2	$(C_{12}H_{22}N_2O_2)_n$	30
酸化アルミニウム	1344-28-1	$Al_2O_3$	40
フェノール樹脂	9003-35-4	$(C_6H_6O-CH_2O)_x$	25
炭酸カルシウム	471-34-1	$CaCO_3$	5
赤色マスターバッチ	/	/	

---

### セクション 4 : 応急措置

---

#### 1. 応急措置に関する記載

##### 1.1 吸入した場合 :

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。又、気分が悪い時は 医師の診断、手当を受けること

##### 1.2 皮膚に付着した場合 :

汚染された衣服を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。又、衣類を再利用する前に洗濯すること。懸念がみられる場合は、医師の診断を受けること。

##### 1.3 眼に入った場合 :

多量の水で数分間注意深く洗うこと。容易に外せる場合はコンタクトレンズを外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断、手当を受けること。

##### 1.4 飲み込んだ場合 :

速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

##### 1.5 予想される緊急性症状及び遅発性症状 :

セクション 11.1 : 毒性作用に関する情報を参照のこと。

#### 2. 最も重要な急性と発症の遅い症状/影響

セクション 11.1 : 毒性作用に関する情報を参照のこと。

#### 3. 緊急治療の適応及び特別な治療の必要性

該当しない。

---

## セクション 5 : 火災時の措置

---

### 1. 適切な消火剤

火災の場合：水や泡消火剤など、通常の可燃物の消火に適した消火剤を使用する。  
危険でなければ火災区域から製品を移動する。  
移動不可能な場合 製品及び周囲に散水して冷却する

### 2. 物質又は混合物から生じる特殊な危険有害性

本製品では予想されない。

### 3. 消火を行う者の予防措置

消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。移動可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

---

## セクション 6 : 漏出時の措置

---

### 1. 人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

新鮮な空気での場を喚気し 他のセクションの注意事項を遵守すること。

### 2. 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 3. 封じ込めと流出物洗浄の方法および機材

漏洩した場合は、回収・清掃し密閉できる容器に収納し密閉後出来るだけ早く廃棄すること。

---

## セクション 7 : 取扱い及び保管上の注意

---

### 1. 安全取扱注意事項

工業用途に限る。安全データシートをすべて読み、理解するまで使用しないこと。  
使用時は飲食や喫煙をせず眼・皮膚・衣類に着かないよう 指定された個人保護具を使用し研磨作業等で発生する粉じん・ヒューム・煙・ガス・ミスト等の吸入を避け使用後は手指をよく洗うこと。帯電すると点火原となりうり 対策必要性を検討する。

### 2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

特別な保管要件はない。

---

## セクション 8 : 曝露防止及び保護措置

---

### 1. 曝露限界：

CAS 番号 1344-28-1：

ACGIH：TLV—TWA：10 mg/m<sup>3</sup>

OSHA：PEL-TWA：15 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵)、TWA：5 mg/m<sup>3</sup> (呼吸性粉塵)

日本、OEL：0.5 mg/m<sup>3</sup> (呼吸性粉塵)；2 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵)

CAS 番号 471-24-1：

OSHA：PEL-TWA：15 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵) 5 mg/m<sup>3</sup> (呼吸性粉塵)

NIOSH：REL-TWA：10 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵) 5 mg/m<sup>3</sup> (呼吸性粉塵)

日本、OEL：0.01 mg/m<sup>3</sup>

## 2. 設備対策

空気中の濃度を ばく露限度以下に保つため排気用の換気（一般的な希釈換気あるいはサンディング、粉碎又は機械用の適切な局所換気装置を設ける。）を行うこと。空気中の濃度を低く保つために換気が適切に実施できない場合は呼吸保護具を使用すること。本物質を保管あるいは利用する設備には、洗面・洗眼できる設備を設ける。

## 3. 保護具（PPE）

### 3.1 眼／顔面の保護具

顔や眼を損傷するリスクを最小限にするために、サンディングや粉碎の作業の際、あるいはそのような作業の近くにいる時は、接触を避けるために眼/顔面の保護具を選び常に眼/顔面の保護具を着用する。

### 3.2 皮膚／手の保護具

粉塵との接触あるいは粉碎やサンディングによる身体的摩擦から起こる皮膚の損傷のリスクを最小限にするため、適切な手袋を着用する。

### 3.3 呼吸／身体の保護具

微粒子に適している 半・全面形送気マスクを使用するか 使用環境に応じ、保護マスクメーカーに相談すること。作業場所における危険物の量および濃度に応じて身体の保護具を選ぶこと。

## 4. その他の保護具

物質を取り扱う場所、処理する場所、保管する場所では、飲食や喫煙をしない。食事や喫煙の前には手をよく洗うこと。

---

## セクション 9：物理的及び化学的性質

---

### 1. 物理化学的性質の基本情報

一般的な物理的性状：	固体
外観	形状：薄片状
臭いの閾値	非該当
pH	非該当
融点	非該当
沸点	非該当
引火点	非該当
蒸発速度	非該当
引火性(固体、気体)	区分外
上限/下限、引火又は爆発限界	非該当
蒸気圧	非該当
蒸気密度	非該当
分配係数：n-オクタノール/水	非該当
発火温度	非該当
分解温度	非該当
粘度	非該当

---

## セクション 10：安定性及び反応性

---

1. **反応性**  
データなし。
2. **化学的安定性**  
安定である。
3. **危険有害反応可能性**  
危険有害な重合は起こらない。
4. **避けるべき条件**  
混触危険物質。着火源、過度の熱。
5. **混触危険物質**  
強酸化剤、強酸、強塩基。
6. **危険有害な分解生成物**  
刺激性及び毒性のヒューム、ガスを発生するおそれがある。一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、濃い煙、各種炭化水素など。

---

## セクション 11：有害性情報

---

1. **毒性作用に関する情報**
  - 1.1 **皮膚腐食性/刺激性**  
非該当
  - 1.2 **眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**  
非該当
  - 1.3 **呼吸器感作性又は皮膚感作性**  
非該当
  - 1.4 **生殖毒性**  
非該当
  - 1.5 **特定標的臓器毒性 - 単回曝露**  
非該当
  - 1.6 **特定標的臓器毒性 - 反復ばく露**  
非該当
  - 1.7 **吸引性呼吸器有害性**  
非該当
2. **身体への影響**
  - 2.1 **眼**  
微粒子が目にはいると、機械的刺激を引き起こし流涙することがある。物質を燃焼することによる蒸気及びヒュームは刺激性を生じる。加熱ポリマー：眼に入った場合、重篤な熱傷を起こす可能性がある。
  - 2.2 **皮膚**  
機械的刺激あるいはペレットや粉末による擦過傷。加熱ポリマーと接触した場合、重篤な熱傷を起こす可能性がある。
  - 2.3 **飲み込んだ場合**  
曝露経路として経口摂取は想定しにくく、通常の工業用途では危険性はない。大量に飲み込むと、胃腸障害などの損傷を起こす可能性がある。息詰まりを起こすおそれがある。

## 2.4 吸入した場合

作業によって発生した粉じんを吸入した場合、気道及び粘膜等の呼吸器系を刺激し咳・くしゃみ・鼻水・呼吸困難・鼻喉の痛み・吐血等するこがある。溶解や燃焼による蒸気あるいはヒュームは、呼吸器への刺激、頭痛、吐き気をもたらすおそれがある。過度の粉塵あるいはヒュームを吸入した場合、有害のおそれがある。

## 2.5

### 発がん性

発がん性のある化学物質を単体あるいは混合物として含むことがある

## 3. 曝露による徴候及び症状

ポリマーが高温で処理される際に、呼吸器系及び眼に刺激のある蒸気が生成される。溶解したあるいは過熱された物質が皮膚に接触すると、重篤な火傷を生じる可能性がある。製造業者による知見においては、化学的、物理的、及び毒性学的性質は完全には調査されていない。

---

## セクション 12：環境影響情報

---

### 1. 毒性

非該当

### 2. 残留性と分解性

非該当

### 3. 生体蓄積性

非該当

### 4. 土壤中の移動性

非該当

### 5. PBT/vPvB 評価の結果

非該当

### 6. 他の有害影響

非該当

---

## セクション 13：廃棄上の注意

---

### 廃棄方法

内容物および容器を廃棄する際には、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。廃棄する前に、適切な分類を保証するためにすべての関連機関に相談し、該当するすべての規則を参考にすること。

汚染された包装材：汚染された包装材は残留化学物質と同様に扱うこと。汚染されていない包装材は、地域の規則に従って廃棄物の処理スキーム（回収、リサイクル、再利用）の対象とすること。

---

## セクション 14：輸送上の注意

---

取扱い・保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

	LATA	LMDG	RID/ADR
適切な出荷名	規制なし	規制なし	規制なし
危険有害性クラス	/	/	/

国連番号	/	/	/
容器等級	/	/	/

---

**セクション 15 : 適用法令**

---

主な法規性物質

成分 : 酸化アルミニウム 安衛法通知政令番号 : 189(酸化アルミニウム) 法規名 : 該当無し

名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)

---

**セクション 16 : その他**

---

この安全データシート情報は、使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。又、本来の使用目的以外や他の物質との組み合わせなどの使用は この安全データシートの効力を持ちません。